12／16（月）の行事

報道発表資料の配付日時　11 月 29 日（金）13 時 00 分

発表項目（行事名）	**【他の模範となる優良林分を育てている森林所有者が表彰されました】** 令和６年度「森と人を育てるコンクール」受賞者への表彰伝達式について		
記者レクチャーのお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	北海道では関連団体と連携して、森林の持つ多面的機能の持続的な発揮とゼロカーボン北海道の実現に貢献する森林の整備･保全を推進するとともに、森林づくりを道民全体で支える気運を高めるため、地域で適切な森林整備を実践する森林所有者（及び長年にわたり木育活動に取り組む団体）等を評価、表彰しています。 この度、日高管内で受賞された方の表彰伝達式を次のとおり開催しますのでお知らせします。 記 １　日　　時　令和６年 12 月 16 日(月)　13:30～14:15 ２　場　　所　平取町役場　１階　町長室（沙流郡平取町本町 28） ３　受賞者　川上　廣行（カワカミ　ヒロユキ）氏（平取町在住） ４　表　　彰　森林所有者部門　優秀賞（カラマツの部） ５　主　　催　森と人を育てるコンクール実行委員会 （公益社団法人北海道森と緑の会、一般社団法人北海道造林協会、北海道森林組合連合会、北海道の４者で構成） ６　表彰伝達者　日高振興局森林室　室長　高田　伸哉 ７　立会者　平取町長　遠藤　桂一 沙流川森林組合　代表理事組合長　松原　俊幸		
参考	配布資料　・実施要領（抜粋版） ・入賞者名簿 若いころから先代とともに適切な森林づくりを実践してきた川上さん。森林を引き継いでからもご自身の思いを森林づくりに反映させるべく、地元の森林組合と相談しながら理想の森林を目指して施業を行っています。自力施業がむずかしくなった今でも、ご家族と頻繁に森林の様子を見に行っているとうれしそうに話されていました。今回の表彰結果には驚きながらも、これからの励みになるとお喜びの様子でした。 平成 18 年から実施されている当該コンクールにおいて、日高管内では例年受賞していますが、平取町からは４年ぶり６回目の受賞（うち１回は平成 22 年最優秀賞）です。		

報道（取材）に当たってのお願い	当日取材を予定される場合は、事前に担当まで御連絡願います。	
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	(場所)

担当（連絡先）	日高振興局森林室平取事務所　所長　小林　美佳 電話　０１４５７－２－２９７９

別紙

令和6年度 森と人を育てるコンクール入賞者名簿

●森林所有者部門

◆最優秀賞

氏名・団体名	居住市町村	樹　種	林齢	参加林分の所在地	森林室名
近藤　正幸	小清水町	トドマツ	44	小清水町	オホーツク東部
該当なし		カラマツ			
新家子　幸夫	せたな町	スギ	55	せたな町	檜　山

◆優秀賞

氏名・団体名	居住市町村	樹　種	林齢	参加林分の所在地	森林室名
橋本　善洋	伊達市	トドマツ	44	伊達市	胆　振
渡辺　昌弘	豊富町	アカエゾマツ	43	豊富町	宗　谷
谷口　和美	西興部村	アカエゾマツ	32	西興部村	オホーツク西部
船場　實	京極町	カラマツ	33	喜茂別町	後　志
川上　廣行	平取町	カラマツ	33	平取町	日　高
大石　博公	大樹町	カラマツ	33	大樹町	十　勝
酒井　猛	中標津町	グイマツ雑種F1	34	中標津町	根　室
川﨑　榮悦	七飯町	ス　ギ	53	七飯町	渡島東部

◆優良賞

氏名・団体名	居住市町村	樹　種	林齢	参加林分の所在地	森林室名
大渕　清孝	芦別市	トドマツ	34	芦別市	空　知
高橋　和明	江別市	トドマツ	45	当別町	石　狩
小田切　公	旭川市	アカエゾマツ	35	美深町	上川北部
早川　日出利	苫前町	トドマツ	41	苫前町	留　萌
坂東　勝明	中富良野町	カラマツ	33	中富良野町	上川南部
森　祐一	釧路市	カラマツ	34	白糠町	釧　路
加藤　雅行	福島町	ス　ギ	51	福島町	渡島西部

●木育活動を行う団体部門

◆最優秀賞

団体名	活　動　所　在　地	振興局名
認定NPO法人子どもと文化のひろば ぷれいおん・とかち	帯広市	十　勝

◆優秀賞

団体名	活　動　所　在　地	振興局名
URAKAWA yamori	浦河町	日　高
野付漁業協同組合	別海町	根　室

◆優良賞

団体名	活　動　所　在　地	振興局名
該当無し		

令和６年度森と人を育てるコンクール実施要領

１　趣　旨

多面的機能の持続的な発揮とゼロカーボン北海道の実現に貢献する森林の整備・保全を推進するとともに、森林づくりを道民全体で支える気運を高めるため、地域で適切な森林整備を実践する森林所有者及び長年にわたり木育活動に取り組む団体等を評価・表彰する。

２　名　称

令和６年度森と人を育てるコンクール

３　主　催

森と人を育てるコンクール実行委員会（以下「実行委員会」という。）

（公益社団法人北海道森と緑の会、一般社団法人北海道造林協会、北海道森林組合連合会、北海道の四者で構成し、公益社団法人北海道森と緑の会理事長が実行委員長を努める。）

４　事務局

実行委員会の事務局は、公益社団法人北海道森と緑の会に置く。

５　実施方法

（１）参加資格及び対象林分

〇森林所有者

参加資格

・民有林のうち私有林（展示林、普及施設等の普及指導に利用されている森林を除く。）の森林所有者。

参加基準

・森林経営計画を作成し、森林の適切な管理・育成により、地域の模範事例と認められる次の林分

・過去に「ほっかいどう地球温暖化防止貢献の森林づくりコンクール」の表彰を受けた林分（最優秀賞は除く）であっても、受賞の翌年度から５年以上経過し、新たに間伐等の施業を実施した林分も対象とする。ただし、出展回数は２回を限度とする。

樹種：トドマツ、カラマツ類(グイマツを含む)（以下カラマツという)、アカエゾマツ、スギの人工造林地

面積：トドマツ、カラマツ、アカエゾマツ、スギは0.30ｈａ以上

林齢：トドマツ、カラマツ、アカエゾマツは３１～４５年生

スギは３１～５５年生

〇木育活動を行う団体等

参加資格

・木育活動を積極的、継続的に実践している団体・企業等

・過去に「ほっかいどう地球温暖化防止貢献の森林づくりコンクール」の表彰を受けた団体（最優秀賞を除く）であっても、受賞後５年以上を経過している場合は参加資格を有するものとする。

参加基準

・木育活動を５年以上継続していること

（２）参加申し込み

参加者は、参加申込書（様式第１号、様式第２号）に別表１の資料を添えて、７月１２日（金）までに森林所有者は各（総合）振興局森林室、木育活動を行う団体等は林務課（以下「振興局森林室等」という。）に提出する。

振興局森林室等は、予備審査により、森林所有者に係る３部門の中から１林分以上と、木育に係る１団体・企業等を選定し、別表２に掲げる資料を７月２２日（月）までに水産林務部森林海洋環境局成長産業課・森林海洋環境課に提出する。

なお、渡島総合振興局東部森林室、渡島総合振興局西部森林室、檜山振興局森林室については、地域の主要樹種がスギであることから、森林所有者に係るスギ部門での提出を必須とする。

（３）一覧表の提出

森林海洋環境局成長産業課・森林海洋環境課は、参加申込書等の内容を確認のうえ、参加部門　ごとの一覧表を添付して事務局に提出する。

（４）審査の実施

審査は、実行委員会が別に定める「森と人を育てるコンクール審査要領」による。

（５）審査基準

別紙１、２の「森と人を育てるコンクール審査基準」による。

（６）表　彰

森林所有者（トドマツ・アカエゾマツ、カラマツ、スギの３部門)、木育（１部門）の各部門ごとに、次の入賞者を決定し表彰する。

最優秀賞	１点	北海道知事
優秀賞	最優秀賞以外で優秀と認められるもの	実行委員会委員長
優良賞	優秀賞まで入賞以外の参加者	実行委員会委員長

別表１

区　　分	提　　出　　資　　料
森林所有者	写真（林分全体の状況・特徴がわかるもの、標準地、枝打ち等の状況） 位置図（５万分の１)、 地域森林計画図（５千分の１）
木育活動を行う団体等	写真（活動状況等)、位置図（５万分の１)、 活動実績書（様式第３号）

※写真はJPEGデータで提出

別表２

区　　分	提　　出　　資　　料
森林所有者	予備審査表、総合審査表、平均樹高算出表、標準地調査野帳、収穫予測ソフト（トドマツ、アカエゾマツ、カラマツ、スギ)、収量－密度図（アカエゾマツ)
木育活動を行う団体等	予備審査表、総合審査表

※収穫予測ソフトは、調査内容等を入力したデータを提出